

慶應戦、完封勝利

	1Q	2Q	3Q	4Q	total
明治大学	7	0	6	7	20
慶應大学	0	0	0	0	0

得点経過

チーム	クォーター	時間	PLAY	PLAYER(S)	ヤード	PAT			明治	慶應
明治	1	11:44	PASS	#13 水木 → #89 金子	37	K	#4 近藤	G	7	0
明治	3	7:36	FG	#4 近藤	31	-	---	-	10	0
明治	3	9:32	FG	#4 近藤	46	-	---	-	13	0
明治	4	7:02	INT	#6 深尾	17	K	#4 近藤	G	20	0



インターセプトリターンタッチダウン、46ydのフィールドゴール成功。要所で流れを手繰り寄せ、慶應に得点させなかった。



法政戦・みどころ

前節立教戦では、6対3とロースコアで勝利。現段階で全勝は法政のみ。

早稲田1敗 立教1敗 明治1敗

明治が法政に勝つことで、4チームが1敗で並ぶ。早稲田、中央に勝つことが条件ではあるものの、甲子園ボウル出場のチャンスはまだある。

法政は、昨年甲子園ボウルの出場を早稲田に阻まれ、今年は王座奪還を狙っている。立教戦では、タッチダウンは奪えなかったものの、フィールドゴールを確実に決め、勝利。昨年に比べると、攻撃力が低くなっているように見えるものの、#11・高津佐 隼世へのパスが決まり出すと、多彩なRB陣の走りも止まらなくなる。#99今熊はじめとするDL陣がQB#4・谷口 雄仁に投げる余裕を与えないことが鍵となるだろう。

対する明治は、前節慶應戦同様、インターセプトリターンタッチダウン、ロングフィールドゴールを含め、チャンスから確実に得点することで勝利に近づく。そして試合終了まで攻め続ける。

何がなんでももぎ取りたい一戦であることは言うまでもない。

一意専心

10月28日(土) 14:00

アミノバイタルフィールド

Kick Off